

# みどりの共創プロジェクト

## 『コミュニティ×みどり』

トラックガーデン・グロウガーデン

を活用したコミュニティの創造

川崎市市制100周年記念事業・  
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS  
KAWASAKI 100th





## ● 目指すべき姿

公園等における緑化活動への市民の継続した参加、更には、スポーツ・文化活動までも包括して、様々な公共空間で、市民がやりたいコトに応じた市民活動に参加していく中で、地域のコミュニティ活動が盛んなまち

## ● 事業内容

川崎市では、大小様々な市民活動が展開されているものの、現実では限られたプレイヤーが参加しているに過ぎない。

地域の活動（みどりに限らず、スポーツや文化的活動も含め）を包括的にまとめたプラットフォームを育み、活動したい人（主催者、参加者いずれも）と活動できる場所のマッチングを促進し、要件を満たせば誰でも、自由に、平等に参加できる仮想地域の総合型クラブ（年会費制）を立ち上げる。

# なぜこの取組を行うのか

【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



住み続けたいと思われるためには、『地域との繋がり』は重要な要素

## 地方圏での暮らしを検討する理由(Top5)

地域との繋がりがない人が

**7** 割弱も存在

## 『住み続けたい』と『地域との繋がり』の相関

『地域との繋がり』が多い人は  
『住み続けたい』と感じやすい

『住み続けたい』と思う人の『地域との繋がり頻度』

自分の地域との  
繋がり方

- 地域のイベント/団体等に参加したことがある
- イベント/参加したことがないが、立ち話をする知り合いはいる
- つながりは、ほぼない/ない

ほぼない  
(低頻度)

約2倍



週3以上  
繋がりがある  
(高頻度)



ビジョン  
(達成したい姿)

## 地域の市民活動のプラットフォーム化、場所と人のマッチング

STEP4  
市民活動の  
クラブ化

### 『総合型地域クラブ（総合型地域スポーツクラブの拡大版）の実現』

市民のメリット：会費を払えば、様々な地域での活動に参加できる機会の創出  
事業者メリット：エリアマネジメント業務と収益の安定化  
自治体メリット：様々な公共空間（官民間わず）を地域に一定のルールの上で解放し、市のコミュニティ施策の実現

STEP3  
既存公園  
への展開

### 『近隣公園以下の公園を市民活動の場として、公開』

市民のメリット：身近な公園が多様な市民活動の場として、展開されることで、市民活動機会の増加  
事業者メリット：例えば、指定管理者制度や市民活動のコーディネーターの指定等を受けながら、エリアマネジメント活動の事業化  
自治体メリット：市民に裁量を与えることで、市民活動の多様化、市民対応業務の窓口の一本化

STEP2  
民設公園  
の実証

### 『STEP1、STEP1.5を踏まえ、スポンサーを募った上で都市公園法に縛られない、公園を期間限定で実証する。』

市民のメリット：みどりに限らず、旧来のルールに縛られない市民活動の場が増えることで、新しい市民活動機会の創出  
事業者メリット：広報効果、地域の多様なプレイヤー（仲間）の発掘  
自治体メリット：公共空間の活用可能性の実証、市民ニーズの把握

STEP1.5  
(仮想)  
ONEPARK

### 『トラックガーデンを通じて、エリアごとの市民ニーズの把握』

市民のメリット：仮設でも、みどりを楽しむ場が身近に出現し、参加機会の創出  
事業者メリット：初期コストを最小限に、（市の協力を得ながら）市場調査の実施  
自治体メリット：地域ごとのコミュニティに対するニーズの把握



STEP1  
play green  
の実現

### 『SUPERNOVA川崎のgood plants（植栽コンセプト）を活用して、触れられるみどりの場の実現と地域コミュニティの醸成』

市民のメリット：都市部駅近接エリアでのみどりとふれあい機会  
事業者メリット：（ホリプロ）施設認知の向上、（GN/ONE博）みどりを通じた活動の認知度向上  
自治体メリット：（市有地上の民間施設における）民間発のグリーンコミュニティの構築事例

# メンバーと役割 (案)



## 会社概要 (AtoZ)

## 担えるリソース

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽帯の施工、雨水循環システムの提供</li> <li>・商業施設などの空きスペースの紹介または提供（トラックのリース）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデンの企画、実施</li> <li>・ワークショップの企画運営</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーデンの企画、実施</li> <li>・ワークショップの企画運営</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリー作り ・エンターテインメントの演出</li> <li>・協賛周り等</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所の紹介または提供</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所の紹介または提供（VOVO、その他ファームガーデン）</li> <li>・コンポストの講習・運用・管理</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント会場構成監修</li> <li>・ブランドデザイン ・実施場所の提供</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出展者募集（市民活動団体やキッチンカーなどのマッチング）</li> <li>・広報 ・アップサイクル取り組み紹介・ワークショップ（ムシボット、コンポスト等）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施場所の紹介または提供（コスギアイハグ）</li> </ul>

# 令和5・6年度 事業展開（予定）



ビジョン  
(達成したい姿)

## 地域の市民活動のプラットフォーム化、場所と人のマッチング

STEP4  
市民活動の  
クラブ化

### 『総合型地域クラブ（総合型地域スポーツクラブの拡大版）の実現』

市民のメリット：会費を払えば、様々な地域での活動に参加できる機会の創出  
事業者メリット：エリアマネジメント業務と収益の安定化  
自治体メリット：様々な公共空間（官民間わず）を地域に一定のルールの上で解放し、市のコミュニティ施策の実現

STEP3  
既存公園  
への展開

### 『近隣公園以下の公園を市民活動の場として、公開』

市民のメリット：身近な公園が多様な市民活動の場として、展開されることで、市民活動機会の増加  
事業者メリット：例えば、指定管理者制度や市民活動のコーディネーターの指定等を受けながら、エリアマネジメント活動の事業化  
自治体メリット：市民に裁量を与えることで、市民活動の多様化、市民対応業務の窓口の一本化

STEP2  
民設公園  
の実証

### 『STEP1、STEP1.5を踏まえ、スポンサーを募った上で都市公園法に縛られない、公園を期間限定で実証する。』

市民のメリット：みどりに限らず、旧来のルールに縛られない市民活動の場が増えることで、新しい市民活動機会の創出  
事業者メリット：広報効果、地域の多様なプレイヤー（仲間）の発掘  
自治体メリット：公共空間の活用可能性の実証、市民ニーズの把握

STEP1.5  
(仮想)  
ONEPARK

### 『トラックガーデンを通じて、エリアごとの市民ニーズの把握』

市民のメリット：仮設でも、みどりを楽しむ場が身近に出現し、参加機会の創出  
事業者メリット：初期コストを最小限に、（市の協力を得ながら）市場調査の実施  
自治体メリット：地域ごとのコミュニティに対するニーズの把握

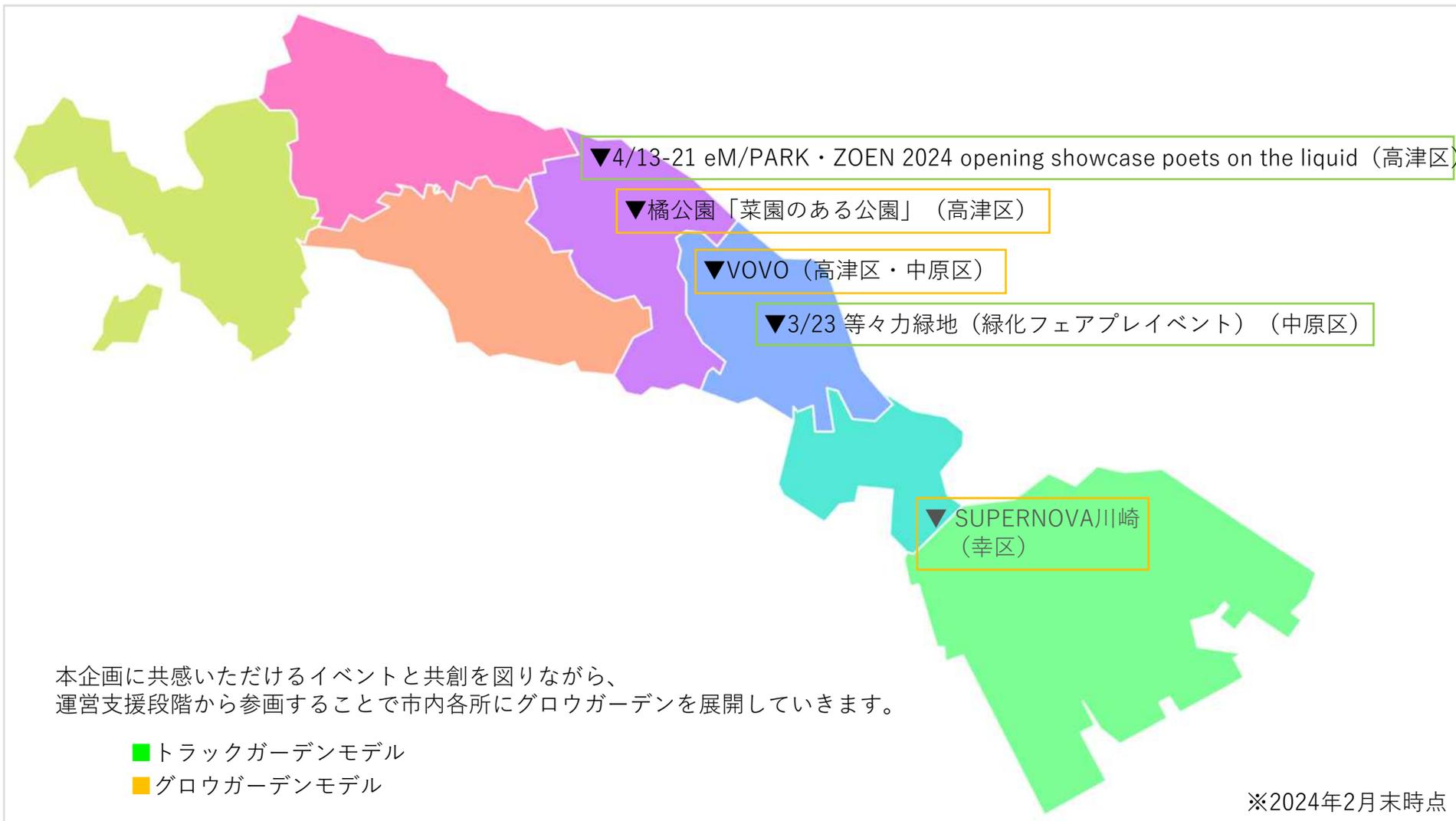


STEP1  
play green  
の実現

### 『SUPERNOVA川崎のgood plants（植栽コンセプト）を活用して、触れられるみどりの場の実現と地域コミュニティの醸成』

市民のメリット：都市部駅近接エリアでのみどりとふれあい機会  
事業者メリット：（ホリプロ）施設認知の向上、（GN/ONE博）みどりを通じた活動の認知度向上  
自治体メリット：（市有地上の民間施設における）民間発のグリーンコミュニティの構築事例

# 令和5・6年度実施予定



# トラックガーデンから行う理由

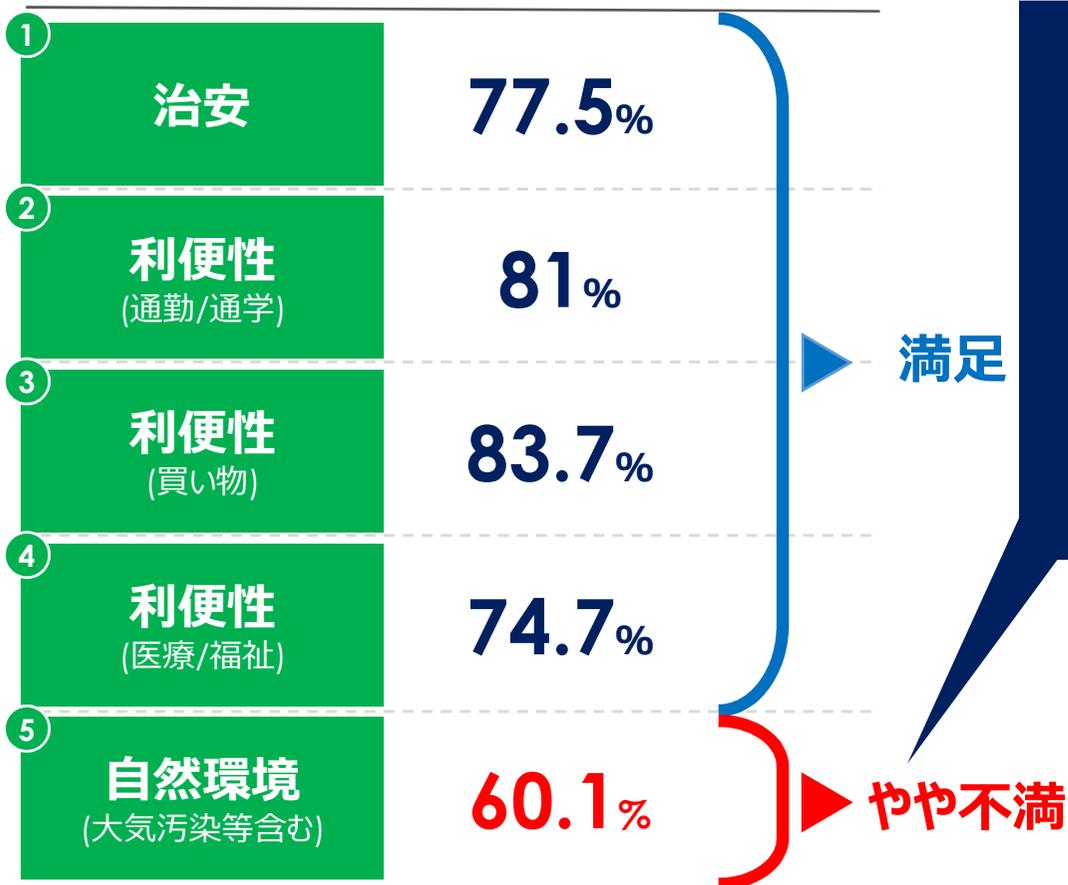
【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## ●川崎市は自然環境に課題

川崎市民の『居住環境としての川崎』は全体的な満足度は高いが、自然環境には不満を感じている人も多い

『居住環境で重視するランキングTop5』と  
『川崎市民の満足度』



川崎市民は『自然環境』に  
不満を抱えている人も多い

※出典：川崎まちづくり局「川崎の住宅事情 2021」

# トラックガーデンから行う理由

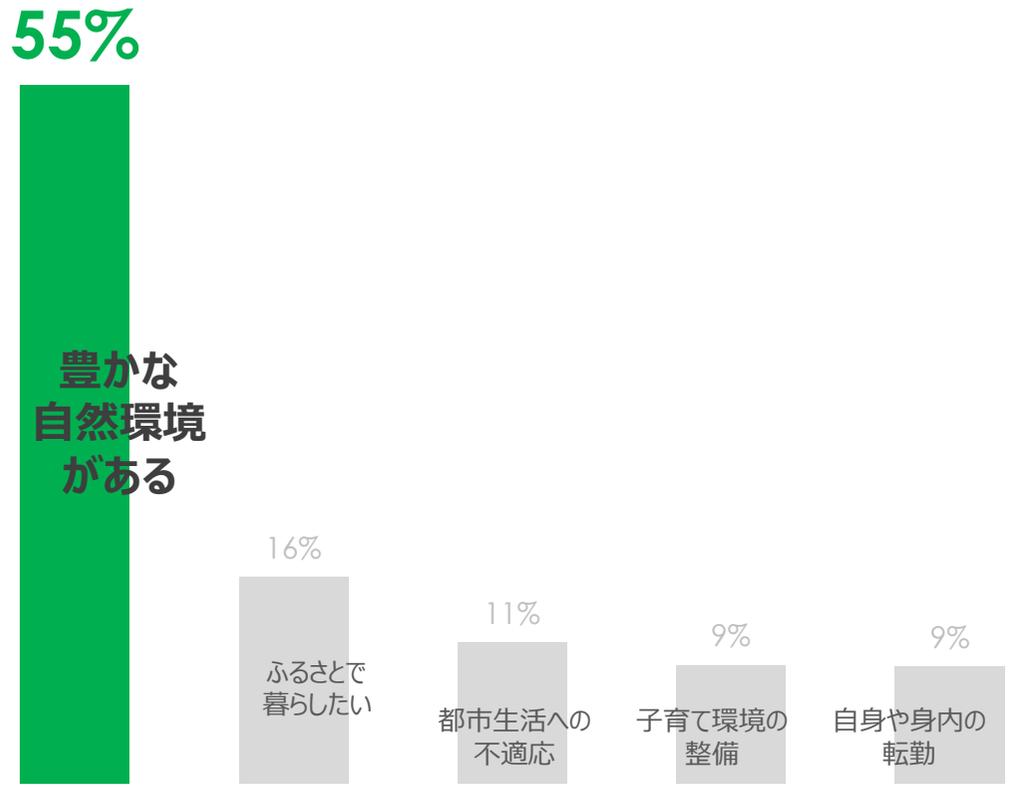
【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## ● 自然環境に不満を感じると起きること

川崎市の便利さは感じつつも、自然環境が不満を感じると川崎市から転居される可能性がある

### 地方圏での暮らしを検討する理由(Top5)



### ケース

### ペルソナイメージ

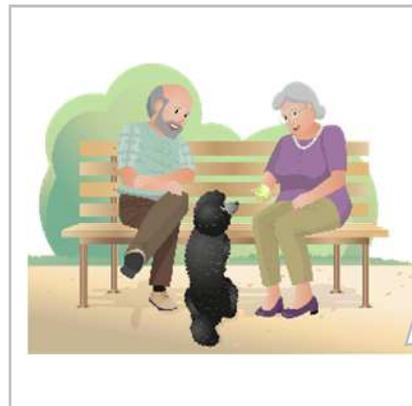
### 心理

1



川崎市は便利だけど子供達は自然と触れ合える豊かな環境で育てたい

2



老後はもっと緑と触れ合える環境で過ごしたい

※出典：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局「移住に関するアンケート調査」（令和2年）により、n=4981

# トラックガーデンから行う理由

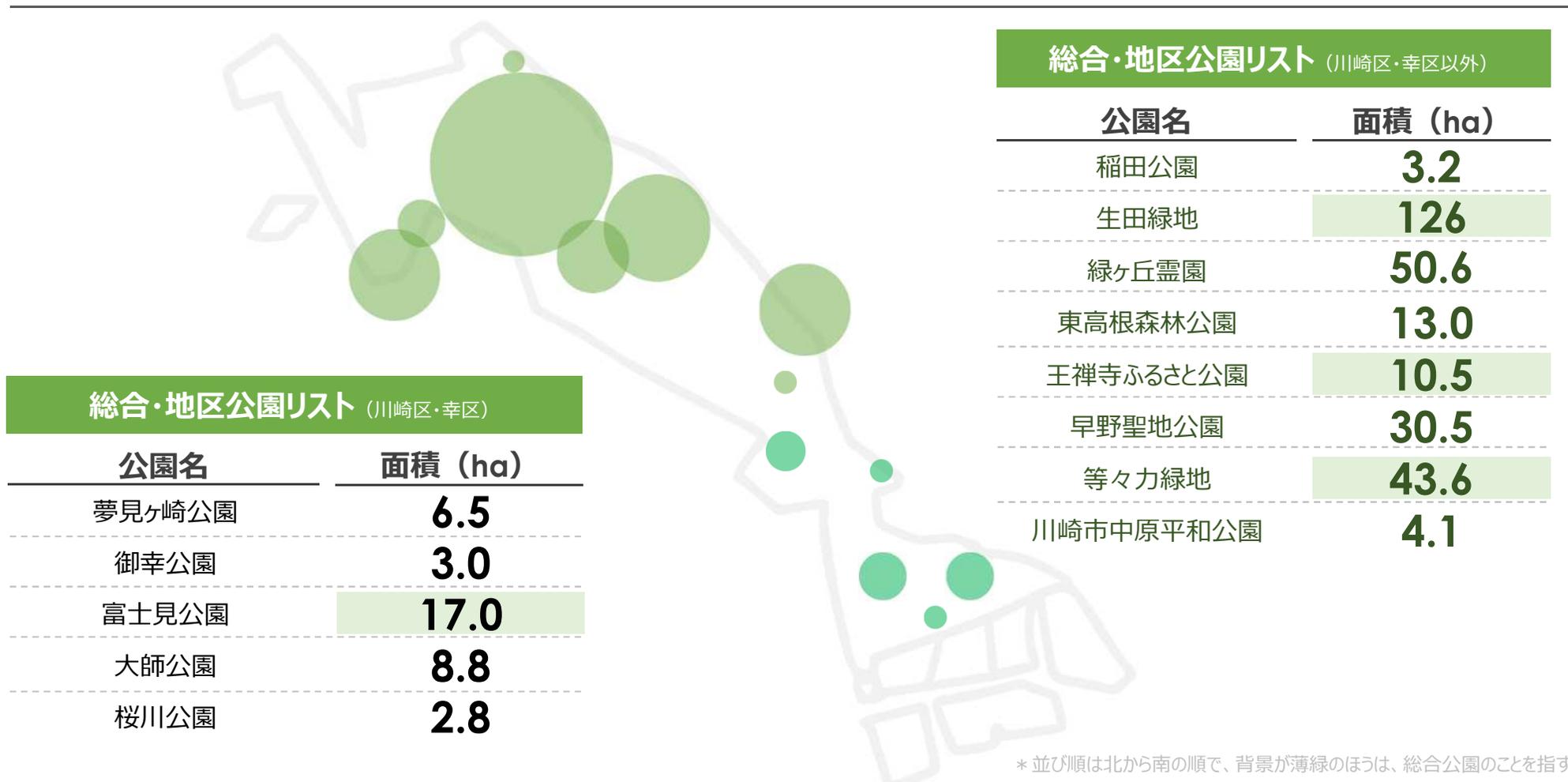
【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## ● 自然を感じられる場所に制限

川崎市は南北に長く、エリアによってはみどりに触れられる機会が少ない

川崎市総合・地区公園の分布と面積（平成30年）

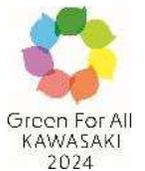


\* 並び順は北から南の順で、背景が薄緑のほうは、総合公園のことを指す

※出典：川崎市建設緑政局緑政部みどりの企画管理課「川崎市公園・緑地等位置図」（平成30年度版）により作成。

# トラックガーデンから行う理由

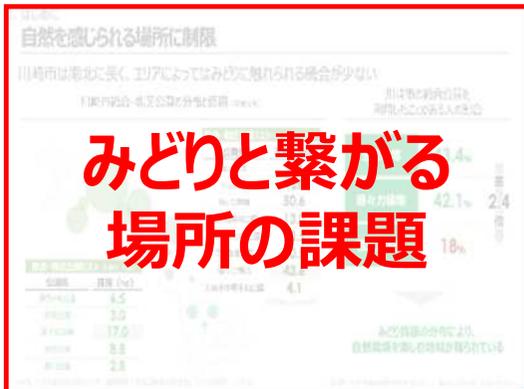
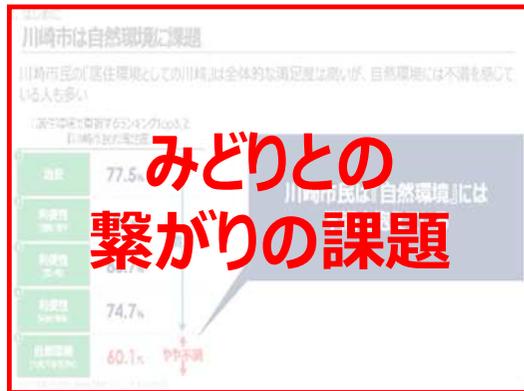
【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## ●トラックガーデンで解消する課題

川崎市が『暮らしやすく/住み続けたい川崎』となることを阻害する3つの課題を解決することを目的に、トラックガーデンを行う

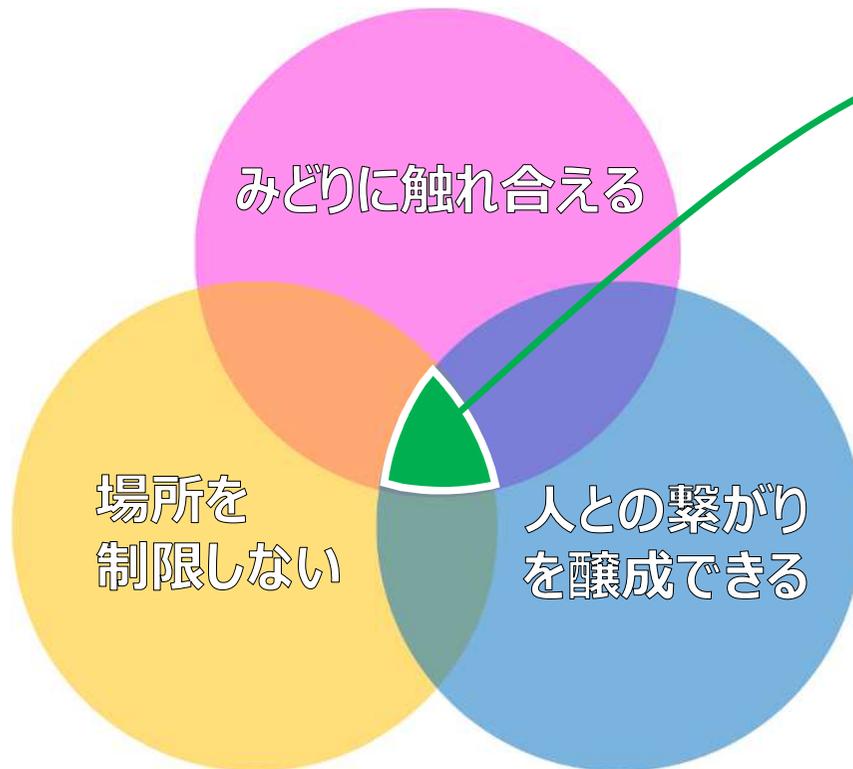
『暮らしやすく/住み続けたい川崎』を阻害する3つの課題





## ●トラックガーデンによる『みどり』を通じた、コミュニティの創出

本事業は『住み続けたい川崎の実現』を目的とし、川崎での生活満足度と愛着の向上という課題を、みどりに繋がるコミュニティの創出により解決することを目指す





## ●トラックガーデンと一緒に展開されるコンテンツのイメージ



市内産野菜を使ったキッチンカー



地域団体や農家、事業主の出展

### みどりに触れる1日



### 市内の植木生産農家による 1日だけのトラックガーデン



みどりのワークショップ



みどりをテーマにしたパフォーマー（音楽）の演出

# 事業内容 (地域連携による出展事例)

【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## コンポスト (生ごみ・畑・土・みどり)



## 木育 (木・林業・森環境)



## せっけん (排水・水環境・海と森)



## 生産者 (農家・養蜂家)



# 【3月実証実験について】

【再掲】  
第7回市制100周年幹事会



## ・開催時期及び場所

3月に実施するかわさきフェア春開催 1 年前イベント内で実施

## ・実証実験での役割のイメージ

- 施工/管理 : 該当なし
- 運営管理 : Green Neighbors
- 協賛/企画 : ホリプロ
- + αコンテンツ : かわさき生活クラブ、Green Neighbors
- 広報 : かわさき生活クラブ
- 地域連携 : かわさき生活クラブ、Green Neighbors

## ・想定コンテンツ

- ・みどりをテーマにしたワークショップやパフォーマンス
- ・地域団体や農家、事業主の出展
- ・キッチンカー等

## ・想定事業費

- ・ 約650,000円（うち、実行委員会で1/2を負担）

# 【4月トラックガーデン企画・共創PJ事業内容】



## ・共創PJの実施事業

ZOEN 2024 opening showcase

## poets on the liquid

映像作家×詩人×音楽家による「みどり」にまつわるインスタレーション

## ・共創PJとしての狙い

溝の口という街中で、さらには普段は駐車場として使われているところを期間限定で緑化するイベントと連携し、みどりをベースに映像、詩、音楽を絡めて、昼とは違ったみどりの魅力を感じる空間を演出することで、みどりを中心とした話題を生み、普段関心のない人にも来てもらうきっかけとする。みどりと人、そして人と人のつながりを醸成する機会とする。



venue • eM/PARK (持田駐車場屋上) open • 17:00 show start • 18:30 entrance • 1,500yen



venue • eM/PARK (持田駐車場屋上) open • 17:00 show start • 18:30 entrance • 1,500yen

# 【4月トラックガーデン企画・共創PJ事業内容】



## ・コンテンツ内容詳細

『人々は、なぜ便利で効率的な生活の中で、  
**みどり、庭**を必要とするのか？』

- ・トラックガーデンを舞台に、映像作家によるみどりの映像、詩人によるみどりを表現するポエトリーディング、音楽家による造園や自然の音を活用した「みどり」にまつわるインスタレーション

## ・役割分担

- 施工/管理 : DEN
- 運営管理/協賛/企画 : DEN
- 広報 : DEN・かわさき生活クラブ
- 地域連携・当日スタッフ : かわさき生活クラブ、PJメンバー全て

## ・想定事業費

約500,000円 (うち、実行委員会で1/2を負担)

# 【参考】緑化アートプロジェクト「ZŌEN 2024」



## ・企画名 緑化アートプロジェクト「ZŌEN 2024」

## ・開催時期及び場所

日程：2024年4月13日(土)～4月21日(日)

開催時間：10:00～16:00（※別途、プロジェクションマッピング・映画上映を実施予定）

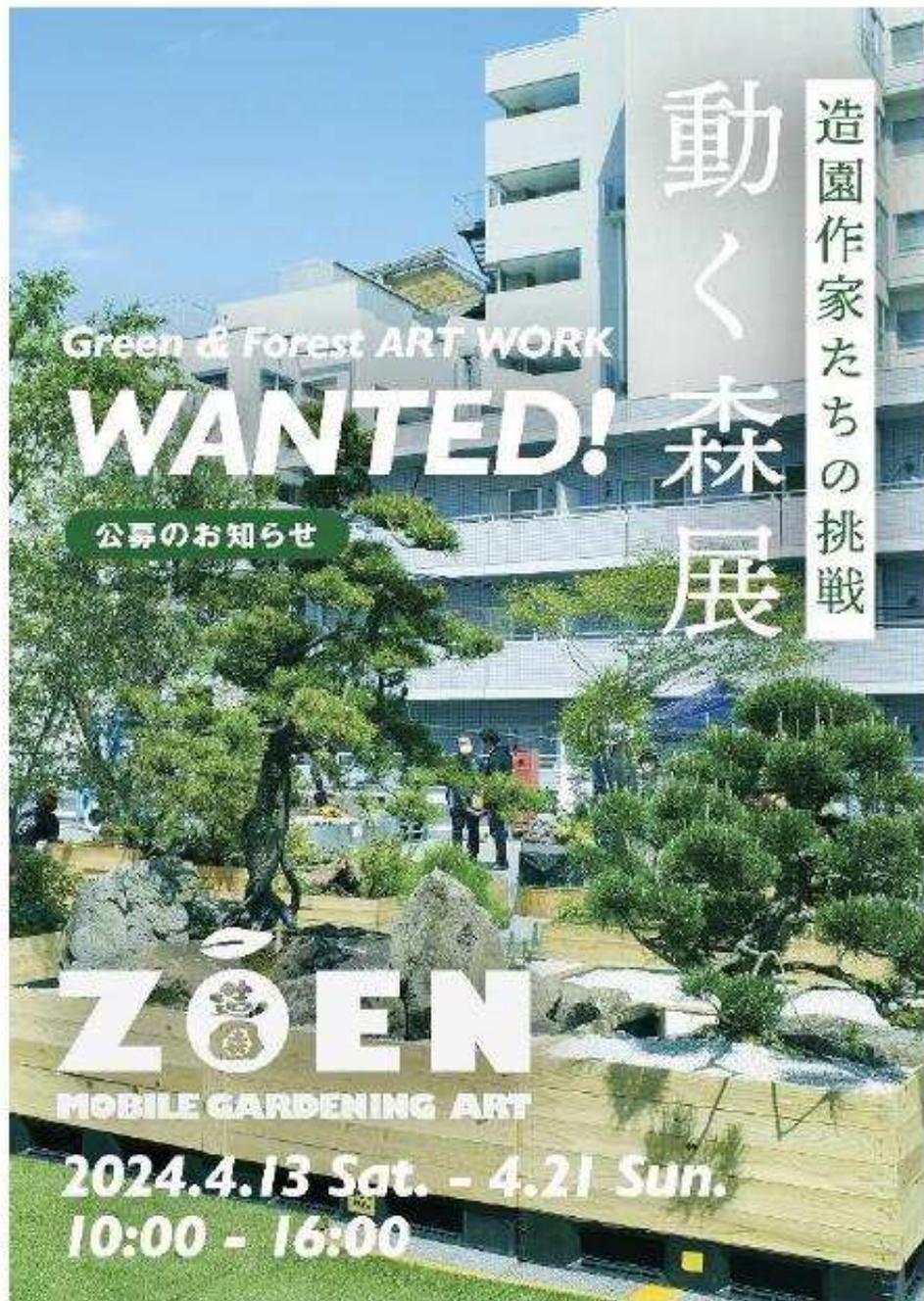
場所：eM/PARK（持田駐車場屋上・川崎市高津区久本）

マルイファミリー溝口 2階入口前/キラリデッキ（JR線武蔵溝ノ口駅 北口2階）

## ・想定コンテンツ

- ・造園作家&アート作家による“移動する人工地盤緑化”インスタレーション展示
- ・都市緑化、グリーンインフラ、脱炭素の社会的必要性を遊びながら学べる場と機会の創出
- ・マイグリーニング事業（法人からの寄付による人工地盤緑化）の実証実験
- ・地元企業や団体によるアップサイクルの教室やワークショップ、関連商品の販売・展示をはじめ、もりのリフレッシュヨガやフード販売など子ども向け環境系イベントコンテンツを提供

# 【参考】緑化アートプロジェクト「ZŌEN 2024」



## 川崎発の緑化アートプロジェクト ZŌEN ～動く森展～

### 公募のお知らせ

ZŌEN(運営：まちの緑育プロジェクト・神奈川県川崎市)では今年で第4回目となる造園作家らによる屋外インスタレーションを開催。造園作家およびアート作家を対象に「森」や「みどり」をテーマとしたアート作品を募集します。

本プロジェクトは川崎・溝の口という緑豊な美しい市街地において、ゲリラガーデンなどの手法をヒントにしながら「まちなか緑化」を促進することを目的としてスタートしました。

短時間で完成可能な様々な屋外空間において、今回は造園作家の作品と彫刻家・画家・写真家などアート作家の作品が相対するインスタレーションが、新たな芸術表現となることを促進する実験的な展示イベントです。

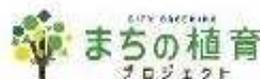
※展示にあたりましては出展料や運送料などは頂戴しませんが、  
 ※応募内容・出品条件など詳細につきましては事務局へお問い合わせください(応募締切：2024年2月20日)  
 ※応募資格・応募方法・抽選会実施予定、カメラマンによる写真撮影(主にスマホ)、作品の提供は完了、運賃金庫へ持ち帰り



### イベント概要

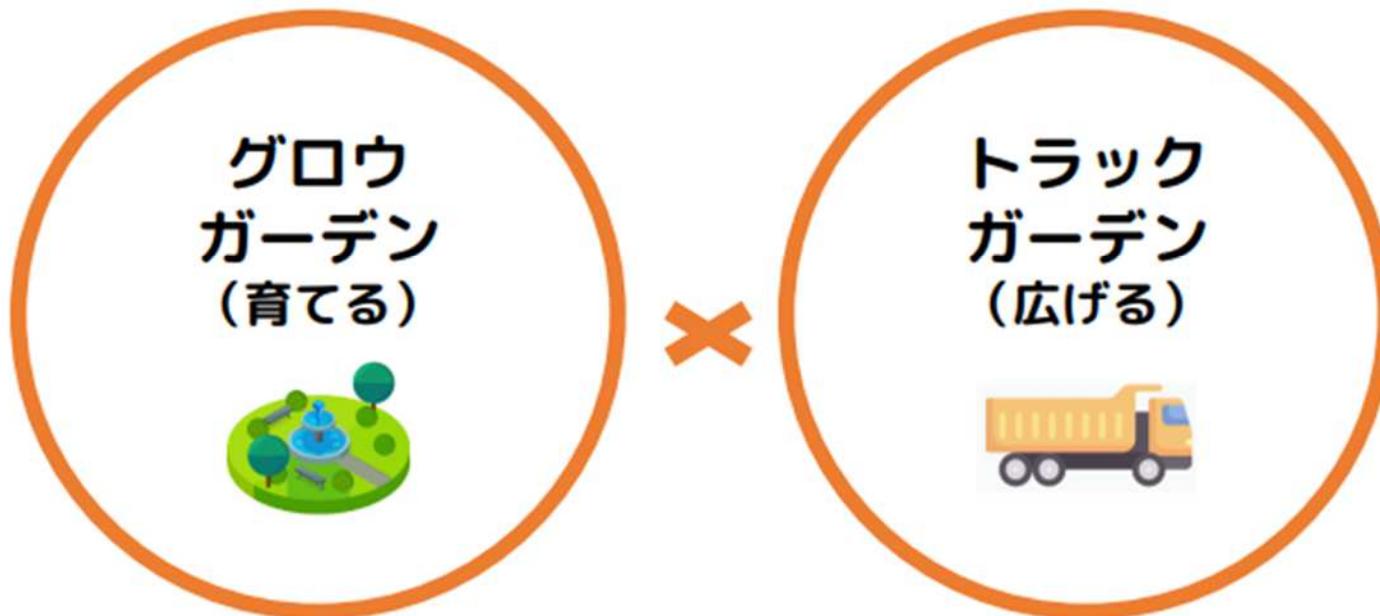
日程：2024年4月13日(土)～4月21日(日) 10:00 - 16:00  
 場所：川崎市高津区久本 3-1-14 eM/PARK 屋上、川崎市高津区溝口 1-21-2 キラリテック ほか  
 主催：まちの緑育プロジェクト・民間商店会 / 共催：GREENING TAKATSU・生活クラブ / 運営：川崎市  
 造園作家と多彩なアーティストによる作品展示のほか、「森と都市の未来(森)」、「日本のあるべき都市像とは(街)」をテーマとした  
 展示空間がリストによるトークセッション、植物的発酵ピート・フードオブ(映画) Five Seasons: The Gardens of Piet  
 Oudhof、の苔の上紙やプロジェクションマッピング、グリーンや環境をテーマとしたワークショップおよび動画、取手販売等  
 を行う予定です。  
 「地や水はを愛さず、大切に大切に育みたい、水を抱えて都市と共に生活したい」など人間本能的にもっている植物との新しい関係を  
 育むための仕組みづくりが私たちの重要なミッションです。  
 【観つくり】可観つくり【寄つくり】  
 【まちなか緑化】に賛同する限り組み立てるならさらされる場所の再生・活用は、その場と対峙にとどまることなく、消費再販一物置(エリ)ア  
 ーが第一歩かへと寄り添って取り組む回りで影響を及ぼすことで「まちなか緑化」の一歩となることを目指しています。

応募および寄付のお願い  
 「みなさまの協賛・寄付によって、街に緑と土を増やし、街の魅力を高めます！」  
 本事業は、お住みにおける市民とみどりの親睦向上を目的とし、造園作家による人工造緑化という手法を用いながら  
 都市緑化の活性化を目的とした実践的な取り組みです。今回で4回目を迎え、今年よりスタートします。  
 「生活環境美化かわさきエゴ」に向けてさらなる実践的な取組を進めています。



お問い合わせ：  
 まちの緑育プロジェクト 事務局 藤田・鈴木  
 電話番号 044-400-2378 Email info@midori-lab.jp

# 【5月グロウガーデン・スタートアップ】



川崎の人や魅力に焦点をあて  
人同士の繋がりを醸成し、緑に興味をもってもらう

# グロウガーデンとは



- ❖ みどりを植えて育てて活用する、多彩なみどりを楽しむためのガーデン
- ❖ 日々の水やりやお手入れからイベント・ワークショップまで、幅広く緑との関わり方を仕掛けていく
- ❖ 様々な主体の取り組みを巻き込み、積極的に新しいチャレンジを応援 同時に多様な魅力・文化・技術の伝承



## コンテンツ (例)

- 緑や環境をテーマとする実証実験
- シェア菜園・実りフェンス
- 地元野菜を味わう体験: かわさき育ち試食会、芋煮会や青空キッチン
- コンポストの普及推進スポット
- ステージやイベント広場



緑や土に触れる機会を作るだけでなく、  
様々な「挑戦 (チャレンジ)」を実施する場所にしていく

# グロウガーデンの全体構想



みどりをきっかけにコミュニティを醸成する  
川崎市各地のグロウガーデンを形成させ、  
マッピング&マッチングし、市民参加の機会  
を増やしていく

- 触れられるみどりの場の実現と地域コミュニティの醸成
- 身近な公園が多様な市民活動の場として、展開されることで、市民活動機会の増加



# 【5月グロウガーデン・スタートアップ】



## ●各グロウガーデンにて共創PJ (PJ名検討中) の取組として広め、コミュニティの醸成をはかる

<p><b>グロウ ガーデン</b></p>	<p><b>SUPERNOVA KAWASAKI</b> スペルノーヴァ カワサキ 幸区大宮町</p>	<p><b>菜園のある公園 (橋公園)</b> 高津区子母口</p>	<p><b>VOVO</b> ボボ 高津区千年</p>
<p><b>主となる 運営管理</b></p>	<p>Green Neighbors (ホリプロ)</p>	<p>ピークスタジオ</p>	<p>NPO法人あかね</p>
<p><b>PR</b></p>	<p>共創PJグロウガーデンとして共通PRのための チラシ・パンフレット・グッズ製作 想定事業費：200,000円</p>		
<p><b>企画</b></p>	<p>各地で周知するための企画・イベントを5月以降に開催</p>		
<p><b>コンテンツ</b></p>	<p>講師・パフォーマー招致・人件費・レンタル・備品費 想定事業費：60,000円 × 3拠点</p>		
<p><b>保険</b></p>	<p>企画開催時の行事保険等 想定事業費：10,000円 × 3拠点</p>		

合計想定事業費：410,000円 (うち、実行委員会で1/2を負担)